

StemFit®AK03N 培地 製品仕様書

1. 注意事項（必ずお読みください）

本製品は「研究用試薬」です。医薬品・臨床診断・食品用途として使用しないでください。
詳細は安全データシート（SDS）をご参考ください。

2. 製品形態

本製品は3つのコンポーネントから構成されており、
保管温度帯は「冷蔵」と「冷凍」に分かれています。

- ・ A液 400 mL（冷蔵、2-8度）
- ・ B液 100 mL（冷凍、-20度以下）
- ・ C液 2 mL（冷凍、-20度以下）

1セットで約 500 mL 調整できます。



3. 調製方法

- ① A液ボトル1本に対し、B液とC液を各1本ずつ溶解します。

37度のウォーターバスでの急速溶解は、培地成分の劣化を早めますので行わないでください。B液は室温下で1-2時間、または冷蔵庫で一晩かけて解凍してください。C液は液量が少なく直ぐに溶解可能ですので、調整時に溶解を始めてください。

- ② C液をB液ボトルに添加後、全量をA液ボトルに添加し、十分に混合します。

- ③（オプション）混合後の培地については適切な容器（例：50 mL チューブ）に分注し、-20度以下（-80度で保存の方が望ましいです）で凍結保存が可能です。必要な分だけ溶解しながら使用することができます。

全て無菌充填済みですので、無菌環境下（安全キャビネット内）で混合することで、フィルター滅菌は不要です。
調製後は冷蔵庫で保管（遮光）し、調製後2週間以内に使用することをお勧めします。冷蔵庫から取り出した培地は1時間程度室温下に置いてから使用してください。

4. 使用方法

販売元・味の素ヘルシーサプライ株式の製品ページに掲載されているプロトコールに準じて使用してください。

5. 参考情報

ヒトiPS細胞201B7株を中心とした弊社検討結果の例を示します。

- ① オンフィーダー培養系からの本製品も用いたフィーダーフリー法への直接の切り替えも可能でした。
- ② 培地交換の頻度は細胞株や播種密度に依存します。弊社では製品プロトコールを基本とし、7日毎に継代しています。培地交換は継代翌日、それ以降は細胞密度が低いときは隔日もしくは2日おき、細胞密度が高いときは毎日培地交換を行うことを推奨します。下表は弊社における培地交換スケジュール例です。

* 弊社における201B7株の継代スケジュール例

WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE
継代	培地交換	培地交換	—	—	培地交換	培地交換

6. 製品情報お問い合わせ先

味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部 アミノ酸部培地グループ

〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号

E-mail stemfit@asv.ajinomoto.com

販売者：味の素ヘルシーサプライ株式会社

製造者：味の素株式会社